2025.5.1

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

アストンマーティン、APAC及び中国の

リージョナル・プレジデントにカール・ベイリスを任命

- **数々のラグジュアリー・カーブランドを経て、アメリカのリージョナル・プレジデントを務めたカール・ベイリス、APAC 及び中国のリージョナル・プレジデントに任命**
- **ベイリスは 2025 年 5 月 1 日より就任**

2025 年 5 月 1 日、ゲイドン（英国）：
アストンマーティン・ラゴンダはアジア市場での更なる拡大のため、ラグジュアリー・カーブランドの要職を歴任した後 アストンマーティンではアメリカのリージョナル・プレジデントを務めたカール・ベイリスを、新たに APAC 及び中国のリージョナル・プレジデントに任命しました。ベイリスは 2025 年 5 月 1 日より就任します。

ベイリスはポルシェ、フェラーリ、ブガッティといった高級車ブランドで数々の成功を治め、2022 年にアストンマーティン・ラゴンダに加わりました。グローバルヘッド・オブ・アフターセールスを経て、アメリカのリージョナル・プレジデントに就任し、この度 APAC 及び中国のリージョナル・プレジデントに任命されました。

またベイリスは 20 年以上の長いキャリアの中でもポルシェ、フェラーリ在籍時には上海（中国）、ブガッティでは香港でマネージャーを務め、アジア市場拡大を牽引してきました。

今回の任命について、チーフ・コマーシャル・オフィサーのジョリオン・ナッシュは以下のように述べました。「カールは、ブガッティ、フェラーリ、ポルシェブランドで働いた経験を通じて、中国およびアジアパシフィック地域で凡そ 10 年のウルトララグジュアリー自動車業界の経験を有しています。アストンマーティンには 2022 年に入社して以来、彼の強みである業界知識やネットワークといった知見を活用して、弊社の事業をけん引してリージョンに還元してきました。今後は日本市場の更なる伸長のために役立てていくことでしょう。」

アストンマーティン・ラゴンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。

https://media.astonmartin.com/

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Marketing & Communications Manager-Japan
松永 悠理
yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー
加藤 七瀬：070-7611-6970　中井 美里：070-2238-5865
astonmartin-pr@pjbc.co.jp